

平成29年度大槌町心の復興事業採択事業一覧

NO	事業名	団体名	代表者	事業の目的・概要	交付決定額
1	大槌！民謡がつなく人と地域プロジェクト	佐野よりこ民謡復興プロジェクト	佐野 よりこ	震災からまもなく6年。町の整備は進み住民の生活は元通りになってきてはいても避難生活の長期化や災害公営住宅等への移転等、以前より孤独や不安を感じている住民は多く、地域コミュニティの形成が急がれている。いま正に「つながることの大切さ」「心のふれあい」が最も大切な時期にきているように感じる。今回の公演は自ら被災した地元の若手民謡人20代～40代が中心となり、60代～80代の先輩方や小中学生の若い世代の3世代が交流し合いながら、先人たちから歌い継がれてきた民謡を通して住民の方々の「心のつながり」「近所のつながり」強いては「地域のつながりづくり」から未来への希望がつながるきっかけにしてほしいと考えている。	¥776,000
2	災害公営住宅(マンションタイプ)のコミュニティづくり支援事業	認定NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク	菊池 新一	被災から大槌町の復興事業(住まい)は、「仮設住宅」から「終の棲家」への移行が進んできている。その中で、他行政区に比べ、戸建てや長屋タイプ等、生活スタイルに合った選択ができていないマンションタイプの住宅(現在3ヶ所)での新たなコミュニティづくりに自治会もご苦労されていると聞いている。この新たなコミュニティづくりをサポートする事業に取り組む。具体的には、各住宅「集会所」を有効利用し、趣味を活かした「編み物サークル」を発足・継続させ、住宅内外のコミュニティ(コアメンバー)づくりを支援することに取り組む。	¥1,478,000
3	被災地における心のケアと見守り事業	NPO法人サンガ岩手	吉田 茉莉子	現在、サンガ岩手は岩手県大槌町に被災者の為のコミュニティスペース「手作り工房おおつち」を開設している。今回の助成ではここでのケア事業を更に充実させる。大槌工房内でもの作り活動を通じた被災地での仲間作り、生きがいづくりを促し、地域のコミュニティー形成とこころの復興を目的とした活動を行う。また、「手作り工房おおつち」に来られない方のために、仮設住宅を訪問し孤立しがちな高齢者の心のケアに努める。	¥1,756,000
4	みんなで作ろう みんなが安心して暮らせる町大槌町2017	有限会社ウィルビー	志村 尚一	(目的)東日本大震災から6年が経過、避難生活の長期化や災害公営住宅への移転等、被災者を取り巻く生活環境が大きく変化している。それに伴い、被災者の心身のケアや生きがいづくりによる「心の復興」、孤立防止が重要となっており、コミュニティ形成の促進が最重要課題となっている。 本事業では、孤立しがちな高齢者や被災者がつながりを持ち、だれもが安心して暮らせる、生きがいを持って前向きに生活できるよう、地域の担い手を養成しながら、住民交流会やCD製作等で交流の場や機会を創出し、地域コミュニティの活性化を目的に実施するものである。 (概要)本事業では町内において次の事業を実施する。 ① 地域人材養成講座(5回) ② 地域住民いきいき交流会(14回) ③ 次世代に残したい歌と心・CD製作(2地区)	¥2,000,000
5	地域のつながりと生きがいを育むサロン事業	おおつち おばちゃんくらぶ	川原畑 洋子	仮設住宅の集約や公営住宅への入居が進む中、一人暮らしの高齢者や高齢世帯などに対しては地域の見守りが大切となっている。本事業では、ものづくりサロンを中心に開催、高齢者の生きがいや外出の機会を生み出していく。特に、集約仮設住宅における住民同士の見守りや互いに教え合うことをサポートし、小さな手仕事や作品作りを通じた生きがいを継続して持てるようになっていく。継続した取り組みになるよう、他の地域とのつながりを持てるよう情報の発信、小さな手仕事として発展を目指していく。	¥1,483,000
6	住民主体の地域福祉力を促進する「場づくり」事業	NPO法人つどい	岩間 秀夫	今年度、応急仮設住宅の集約と新たな地域での暮らしの再建等、居住環境の変化が加速する。地域の課題として孤独、高齢化、震災がもたらした分断された地域のつながりが挙げられている。社会的弱や認知症、独居高齢者等も共に暮らせる地域づくりが求められる。本事業では、住民主体のサロン運営や地域イベント運営に携わることで、地域課題解決に対応する地域内ネットワークの定着、実践内容の情報共有を図る。地域包括ケアのめざす、住み慣れた地域で、その人らしい暮らしを営むことの実現に近づけていく。	¥2,000,000

NO	事業名	団体名	代表者	事業の目的・概要	交付決定額
7	高齢者の生きがいづくりと若手担い手の育成事業	一般社団法人おらが大槌夢広場	臼沢 和行	【目的】当団体にて震災以後に推進してきた復興ツーリズム事業を踏まえると、町外者と町民との交流を通して震災体験等を語ることは「今を生きる」高齢者の生きがいづくりや震災の風化防止に直結することは明白である。一方、観光・まちづくりの面において「将来」の町を背負って立つべき若手担い手が不足している。そこで、①語り部・交流事業を継続することで高齢者の生きがいをつくり震災の風化を防ぐこと、また同事業の企画運営を通して②次世代の担い手を育成することの2つを目的とする。 【概要】①企業・学校の学習旅行等を誘致し、大槌町内仮設・公営住宅団地との交流事業を行う。参加住民は現況や心情などを吐露することによって一定の充足感を得ると共に、来訪者は震災からの教訓などを得ることができる。また、語り部の育成を継続し、担い手の確保と震災の風化防止に努める。一方、②町内若手を「大槌おもてなし隊(仮)」として組織し、前述の交流事業の企画運営補助としてノウハウを学んでもらうことから始め、年度末におもてなしイベントを主体となって開催する。これを通して企画力や行動力を備えた観光・まちづくり人材として育成する。	¥840,000
8	仮設住宅や公営住宅入居等の生きがいづくりとしての農園運営及びものづくり支援事業と引きこもりがちな住民(特に子供)支援事業。被災地交流	新生おおつち	中嶋 貴子	避難者の孤立防止の視点をもとに、被災者の地域活性化等の活動等への参加をきっかけとして、自主的な健康づくりや地域の諸活動への積極的な参加につなげることにより、被災者の心身のケアを進めていくものであり、被災者の心のケアにより「心の復興」を成し遂げることを目的とする。また、前年度に心の復興事業を展開したことにより各地の被災地域、避難者受け入れ市町村との連携が生まれた。それを踏まえ農園や手作り班との交流、子供達との交流づくりも発展させる。	¥1,985,000
9	薪が納ぐ、生きがい・人・街づくり	NPO法人吉里吉里国	芳賀 正彦	【目的】被災者の方々に林業への参画を促し、林業による生きがいづくりを行う。森林空間を利用し、小、中、高生を対象とした森林教室を開催し、町の次代を担う町の後継者育成を行う。また森林作業から産出された間伐材から薪を生産し、有効活用することで、世代間交流・内外交流活動を促進し、震災の記憶の風化防止を行う。 【概要】①自伐型林業による生きがいづくり ②町の次代を担う後継者育成 ③内外交流促進による震災の記憶風化防止 ④地域集落の里山整備活動	¥1,242,000
10	大槌町における生涯健康脳推進事業と高齢者自立促進事業	特定非営利活動法人ソーシャルハーツ	川上 誠	仮設住宅及び災害公営住宅に暮らす高齢者等を対象に、生涯健康脳推進に繋がる「生涯学習」「多世代間交流」「社会貢献」による生きがい作りなどを目的とする。事業内容としては、エクササイズと脳トレ(主に教独)の組み合わせの「シニアハーツ教室」を集会場などで開催する。新設の災害公営住宅にも展開、男性の高齢者への勧誘、高齢者の手作り品を海外で難病に苦しむ子供達へ寄付することによる社会貢献を推進する。	¥2,000,000
11	吉里吉里海岸海開きを通じた大槌町の観光復興事業	はまぎく若旦那会	芳賀 光	震災によって失われた海とのふれあいの場を取り戻すために、「砂の芸術祭」および「吉里吉里海岸映画祭」、「SUP大会」を行い、被災者の交流の場を生み、海の賑わいを再生する。 事業内容としては、吉里吉里海岸で4年連続で開催している砂の芸術祭を今年も開催する。また、一昨年から開催した「吉里吉里海岸映画祭」も開催する。 一連の事業実施において、多くの仮設住宅などに住む方々が参加できるよう、運営体制を工夫して行う。	¥1,245,000
12	大槌町居場所づくりサポーター育成・普及事業	おおつち支え合い協議会	佐々木 亮	東日本大震災から5年が経過し、現在、仮設住宅から自宅再建や災害公営住宅への入居等の動きが少しずつ進む中で、町内のそれぞれの地区での新たなコミュニティ形成が求められている。私達は居場所づくりの担い手育成と各地域での居場所づくりの推進を目的に活動する。	¥123,000
13	大ヶ口・源水地区 地域共生交流事業	特定非営利活動法人ワーカーズコープ 大槌地域福祉事業所	藤田 徹	本事業では、大槌町大ヶ口・源水地区における住民同士の交流の機会を住民と一緒に作りながら、孤立の防止に努める。同地区は、震災後に自宅の再建や災害公営住宅の入居が進み、震災前からの住民と新たに同地区に移り住んできた住民が入り混じっている状態である。既存の自治会活動も震災後に徐々に再開、災害公営住宅で新たに自治会が立ち上がったものの軌道にのっていきには時間もかかる。本事業を通し、自治会活動をサポートする草の根の住民の主体形成に努めていきたいと考えている。また、課題として見えてきている「制度で支えきれない方」の居場所づくりに取り組む。	¥1,250,000

NO	事業名	団体名	代表者	事業の目的・概要	交付決定額
14	おおちゃん花壇はくわたしたちの町の玄関口プロジェクト	おおちゃん花くらぶ	阿部 智子	花壇の活動は 年齢性別問わず誰でも気軽に参加でき 地域の環境整備に貢献しながら 自身の健康づくりにもつながり 生きがいづくりにもなりえる。町の玄関口に位置するバイパス花壇は住居の区分に関わらず 同じ思いを持った人たちが協力し交流活動でき、花と緑を楽しむ場として継続している。区画整理を兼ねた植え替え作業を進めることで 手入れをしやすく見栄えのある花壇に整備しつつ、おもてなし花壇としてやりがいのある活動を目指す。	¥890,000
15	里山まるごとプレーパーク地域・学生交流プロジェクト	里山まるごとプレーパーク実行委員会	東梅 守	地域の伝統的な取組みや外遊びを通して様々な世代が参加しながら楽しんで交流できる場づくりとして「里山まるごとプレーパーク」を四季の変化に合わせて開催。 春には陣屋遊びや新山ツツジ再生祭などと連携し、地域の環境づくりに繋がる活動、夏にはLight up Nipponと連携し、被災地の祈りの場としてのランタン作り、子どもたちの遊び場の提供、秋は地元の食材を活かした芋煮や鍋合戦などの食文化と外遊びを楽しむ活動、冬は、四季の郷の協力を得ながら子どもたちや障害をお持ちの方、地域の方、大学生など多世代交流型の地域の小正月文化に親しむ活動を行う。	¥517,000
16	高齢者の居場所作りとメンタルヘルス支援	認定NPO法人 心の架け橋いわて	鈴木 満	津波により甚大な被害を受けた岩手県大槌町では、それまでの地縁、血縁、職縁が分断されるとともに急速な高齢化が進んでいる。また複合的な喪失体験によるメンタルヘルス上の問題が顕在化しつつあり、地域支援基盤の強化が求められている。本事業では、国の高齢化対策の一環である「認知症カフェ」の理念を拡げ、高齢者および家族・支援者が生きがいを持ち、世代間交流を推進できるような居場所作りを目的とする。音楽、笑い、運動、ICT入門、茶菓作りなどをテーマとした「参加型サロン」を定期的に開催し、メンタルヘルス専門家による医療介護面での情報提供や相談の場を提供する。	¥2,000,000
17	大槌シネマキャラバンみんなの上映会	三陸プレーメン企画合同会社	島田 香織	応急仮設住宅の集約が始まり、居住者が少なくなった仮設住宅に残された高齢者の外出支援のきっかけや、仮設住宅から災害公営住宅への移行に伴い新たなコミュニティ形成が必要となっていく中での高齢者の孤立防止や生きがいづくりを目的とする。また、参加者が企画の段階から関わることで、ワークショップを通じて上映会を開催するまでの流れ等について学ぶ場をつくり、いずれ町民が主体となって上映会を開催できるようになるまでの土台を作り継続的に支えていくと同時に町民主体の体制づくりを行っていく。	¥1,089,000
18	自主的な活動プログラムづくりを通じた被災住民等のコミュニティ形成支援事業	東京大学高齢社会総合研究機構	大方 潤一郎	仮設住宅等から復興市街地への移行期にあたる現在、世帯減少下で生活を続ける仮設住民、地域に対する新住民となる転出住民のそれぞれが環境変化によるストレスに晒されている。これら被災者等の心身の健康のためには生きがいを持つことが重要であり、孤立化や虚弱化を防ぐために社会参加も不可欠である。そこで、当事業では被災者自身が学びや楽しみといった生きがいを見出す機会を設け、対応する活動への企画過程からの参加を通じて住民間の関係形成を支援する。これにより継続的なコミュニティ活動の促進を図る。	¥1,975,000
合 計					¥24,649,000